

Part 1 基本情報

1. ソロモンプロフィール

- (1) 正式名称 (和文) ソロモン諸島
(英文) Solomon Islands
- (2) 政体 立憲君主制
- (3) 首都 ホニアラ
- (4) 面積 2万9,785平方km
- (5) 人口 51.5万人(09年、国勢調査データより)
- (6) 民族 メラネシア系(約94%)が主で、その他ポリネシア系、ミクロネシア系、ヨーロッパ系、中国系
- (7) 言語 英語(公用語)、ビジン英語(共通語)
- (8) 宗教 人口の95%以上がキリスト教
- (9) 略史
1568年 スペイン人メンダナ、サンタ・イザベル島に來航
1893年 英国、南ソロモン諸島領有を宣言
1900年 英国、独より北ソロモン諸島を取得
1942年 日本軍、ソロモン諸島を一時占有
1943年 激戦の末(戦死者約2万人)米軍に奪取され、日本軍撤退(1950年まで米軍が駐留)
1976年 「ソロモン諸島」として自治政府樹立
1978年 7月7日英国から独立
- (10) 在留日本人 在留邦人数 90名(2011年7月現在)
- (11) 気候 該当情報なし。

【参考】外務省ホームページ「各国・地域情勢」外務省

2. 業務のための基礎データ

(1) JICA事務所の概要

【ソロモン支所 JICA SOLOMON ISLANDS OFFICE】

住所 : 1st Floor, Solomon Islands Mutual Center Building, Town Ground, Mendana Avenue, Honiara, Solomon Islands

郵便物宛先 : P.O.Box 2046, Honiara, SOLOMON ISLANDS

電話 : (677) 24170

FAX : (677) 24171

E-Mail : si_oso_rep@jica.go.jp

勤務時間 : 8:30 ~ 16:30 (Lunch Time 12:00 ~ 13:00)

休日 : 下記の祝日と土曜日・日曜日

1月 3日 New Year holiday

2月11日 National Foundation day

3月21日 Vernal Equinox Day

12月26日 Christmas Day (振替休日)

12月27日 Thanksgiving Day

(2011年)

官公庁の休日 : 上記祝日と土曜日・日曜日

- (5) ビジネスアワー
 官庁 : 8:00 ~ 16:30
 銀行 : 9:00 ~ 16:00 (Bank South Pacificは8:30 ~ 16:00)
 商店 : 一般的に8:00 ~ 17:00 (日曜祝日休・土曜8:00~12:00)
- (6) 言語
 業務 : 英語
 ホテル、買い物、食事 : 英語またはピジン語
- (7) 通貨
 通貨 : ソロモン・ドル(SI \$)
- (8) 通貨レート
 為替レート : 1ソロモン・ドル = 約0.1260米ドル(2010年平均)
 1ソロモン・ドル = 約11.76円 (2010年平均)
 最新の為替レートは、以下のサイトで確認のこと。
<http://www.Bloomberg.co.jp/analysis/calculators/currency.html>
 (「ブルームバーグ 為替レート計算」)
- (9) 関係機関
 【在ソロモン大使館(兼勤)】
 住所 : 3rd Floor, National Provident Fund Building, Mendana Avenue, Honiara,
 Solomon Islands (P.O. Box 560)
 電話 : (677) 22953
 FAX : (677) 21006
- (10) 有用サイト
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/solomon/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)

「生活情報」は特に記載のない限りJICA支所がある都市の情報を中心に掲載しています。

1. ホテル、住宅

1-1 ホテル

当国の首都ホニアラにあるホテルは、市内中心部に集まっている。一般的に、物価に比べてホテル料金はやや高めである。支払いは、原則として現地通貨払いであるが、外貨でも支払い可能なホテルはある。ほとんどのホテルがクレジットカードによる支払いも可能である。

一部のホテルは長期滞在者用のアパートメントタイプの部屋も用意している。基本的にチップの習慣はない。

主なホテルは以下のとおり



- ・Solomon Kitano Mendana Hotel (ソロモン・キタノ・メンダナ・ホテル)
- ・Honiara Hotel (ホニアラ・ホテル)
- ・King Solomon Hotel (キング・ソロモン・ホテル)
- ・Pacific Casino Hotel (パシフィック・カジノ・ホテル)
- ・Quality Inn Motel (クオリティー・イン・モーター)
- ・Heritage Park Hotel (ヘリテイジ・パーク・ホテル)



ソロモン・キタノ・メンダナ・ホテル



キング・ソロモン・ホテル



パシフィック・カジノ・ホテル

1-2 住宅事情

賃貸住宅としては独立家屋が多く、アパートは少ない。外国人はホニアラ市内を東西に走る主要道路(メンダナ通り～ククム・パナティナ・ハイウェイ)の南沿いの高台ないしそれらが内陸に伸びる丘陵部に展開する住宅街区の家屋を借り上げて住むことが多い。2003年7月に地域支援ミッション(RAMSI)が駐留展開して以降は、需要に供給が追いつかない状況が続いており、良い物件を見つけるのは困難になっていると同時に、家賃は高騰している。

1-3 住宅の探し方

在留邦人間の口コミが一般的。またRAMSI職員や外交団の異動時も空き物件の出るチャンスなので、あちこちにアンテナを張っておくと良い。新聞広告やスーパーの告示板にも物件が掲載されることがある。市内には数社不動産会社もあるが、手持ち物件数は少ない。



1-4 住宅選定上の留意点

紛争時は押し込み強盗も頻発していたが、RAMSI展開以後は落ち着いている。しかし依然として押し込み強盗、空き巣など発生しており、立地、家屋の構造等、安全対策には細心の注意が必要である。バークラバー、セキュリティスクリーン(太い金網でできておりサイクロネットともいう)、屋外照明の他、敷地を囲むセキュリティフェンスもあったほうが望ましく、警備員の雇用を推奨している。当地はマラリア汚染地域なので、窓や扉に防虫網があることは必須である。また小さな子供がいたり、コンピューターを自宅に設置したりするのであれば、冷房の有無も重要なポイントである。

賃貸家屋は家具付きが一般的だが、付属家具の質・量は家(家主)によってまちまちなので、キッチンを確認したほうがよい。セキュリティスクリーン等を含め必要な家具は入居時に家主に交渉すれば補充・新調してくれる場合もある。また家具類は、当地の家具職人に頼んで希望のデザインの家具を安く作ってもらうこともできる。輸入家具を扱う業者もあるが選択肢は少ない。

当地は電気、水道事情が悪いので、入居前にきちんとチェックすることが大切。場合によっては雨水タンクやウォーターポンプ、自家発電機の有無が重要なポイントになる。

市内居住地区を対象とした公的なゴミ収集は、ホニアラ市役所が一部行っているものの、行われていない所が大半なので、ゴミ収集の方法、頻度、料金等についても入居時に確認は必須である。

なお夜間警備員を雇用するのであれば、警備員用ボックス(詰所、トイレ)が備わっていることが望ましい。

1-5 住宅の契約

敷金、礼金の例は多くないが家主によって異なる。家賃は月払いが一般的だが、家主によって異なる。契約書の内容はきちんと吟味するとともに、特に備え付け家具の品目・数量は確認し、キズやガタツキなど契約書添付家財リストに明記しておいた方がよい。家賃は、建材材質・造作のグレードや築年数などによって大きく差がある。3寝室、居間、台所でだいたい\$12,000～30,000SBDだが一般的に値上がりが続いている。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

電話、電気、水道は、入居時に止まっている場合は開栓手続きを行う。各手続きは家主に相談、照会する。家主によっては家主名義のままとし、家主が徴収に来る場合もある。料金は月1回請求があり、それぞれのオフィスまで行って支払う(電気はHyundai mallでも支払い可)。電気は月1回の請求 - 支払となる「後払い」方式と、家屋に設置されたメーター(キャッシュパワー)に予め購入しておいた暗証番号を入力してチャージする「前払い」方式がある。いずれも、銀行窓口対

応はなされていない。電話と電気は支払いが遅れるとすぐサービスを停止されてしまい、高額の再接続料金をとられることがあるので、注意が必要である。ガスはプロパンガスで、市内の商店等から購入する。

1-7 家電

(1) 電圧

ソロモンの電圧は240V、周波数は50Hzである。日本国内仕様の電気製品を持参する場合は、あわせて変圧器を持参する必要がある(注：1KAなどの大容量でなければ現地購入できる場合もある)。また停電は日常往々にしてあるので、事前に対策をたてておいた方がよい。

(2) コンセント、モジュージャックの形

コンセントはオーストラリアと同じOタイプの三つ穴である。日本製品を使用する際には変圧器とともにプラグアダプターが必要。アダプターは当地で入手できる。モジュージャックは日本と同じ。



コンセント

(3) 家電製品

テレビ、ラジカセ、DVDプレイヤー、冷凍冷蔵庫、トースター、ホットプレート等、選択肢は狭いが、質と値段にこだわらなければ、通常の家電製品は現地調達が可能である。日本から持参するか否かは各人の好みだが、持参した方がいいものとしては、炊飯器(日本製は明らかに美味しく炊ける)がある。

1-8 携行品保険

盗難は多いので、かけておいた方がよい。

1-9 その他

一般的に日本人はきれい好きで家賃滞納もしないので家主には好まれており、入居時にもある程度の要求をのんでくれることが多い。他方、このところの供給不足で強気の家主も多いので、入居時の家具等の交渉は様子を見ながら行う必要がある。また一般に家主は日本よりも鷹揚であり、壁に釘穴を開ける程度では目くじらを立てることは少ないが、後々のトラブルを避けるためにも、何事も口約束は避けて文書でやりとりした方がよい。修理等で対応の遅い家主もいるので、入居時には家主の評判も要チェックである。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

当地は一年中夏の蒸し暑い気候なので、夏服のみ持参すればよい。女性は簡単なワンピースがTシャツにスカートというスタイルが一般的である。男性は事務職は襟付き半袖シャツ(ノーネクタイ)と長ズボンに靴、普段着は半袖シャツかTシャツに短パン(または長ズボン)という出で立ちが多い。

現地購入可能な衣料品には純綿製品は少なく、化繊物が多い。中国、台湾、などアジア製が多く、値段は安いが質はよくない。それなりに質の高いものは値段も高い。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

良質な綿製品はほとんどないので、基本的な衣料はすべて日本から持参した方がよい。

(3) 現地で調達したほうがよい衣料

女性のワンピースなどは数は少ないがデザイン、色とも楽しいものがあり、当地で購入するのもよい。質やデザインにこだわらなければ、アロハシャツ、ゴムぞうり、Tシャツ程度のものは、当地でも十分購入可能である。

(4) その他の留意点

寝具類のうち、タオルケットは持参したほうがよい。毛布を使うほどではないが、夜中から明け方には上掛けシートでは寒いこともある。綿100%のシートも入手が困難なので持参した方がよい。

通常ではカーディガンやジャケットなどの長袖物は必要ない。日中は暑く汗をかくので、女性は袖なし、襟なしの方が快適である。ただし、夕方以降の外出などの際は、マラリアを媒介するハマダラ蚊を防ぐため長袖シャツ、長ズボンを着用するのが望ましい。また室内で冷房が効き過ぎる(調節が効かない)ところもあり、夏物ジャケットやカーディガンが重宝することもある。

一部の店で布地や糸などの材料を売っているほか、シャツなどの仕立てを請け負うところがあるが、品質的に問題があるので、こだわって洋裁をする場合は、材料は日本で用意するとともにミシンも持参したほうがよい。

2-2 礼装

(1) パーティー

「トロピカル・フォーマル」と指定されるのが一般的であるが、その場合長袖/半袖のワイシャツ/カラーシャツにネクタイを着用すれば十分であり、ネクタイ不着用でも問題ないことが多い。

(2) 式典

会議などでフォーマルと指定されることもあり、ごくまれに背広が必要なこともある。普通は上着無しのネクタイ着用で十分である。

(3)冠婚葬祭

式場、家柄によるが、長袖/半袖ワイシャツにネクタイを着用すれば十分である。

(4)その他の留意点

男性はグレー、濃紺/濃茶系統の背広が儀式用に必要な時がある。女性はワンピース、またはブラウス、スカートで十分である。ロングドレスは不要であるが、パーティーの時に着ている人もいる。大使館主催の天皇誕生日レセプションでも男性はネクタイ着用、女性はワンピースで十分である。和服はまず必要ない。ただし、浴衣を持参していれば、日本文化紹介などの機会に役立つ。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1)洗濯

クリーニング店がないので、ドライクリーニングはできない。アイロン、洗濯機は、輸入品がある(日本製はない)。

通常、洗濯、アイロンかけともメイド(ハウスガール)にさせることが多いが、むずかしいものは自分で手洗いするほうがよい。ホテルのランドリー・サービスは洗濯機で洗ってアイロンをかける程度であり、生地傷みや黄ばみは覚悟すべきである。

日差しが強いので、できれば陰干し、裏返しで干すとよい。気をつけないとすぐ色があせてくるので、注意が必要である。

(2)仕立て、修繕

仕立ては可能だが技術レベルは低い。

(3)保管

湿気が多いのでかびには注意が必要である(特に靴)。日本の除湿剤はあまり効果がない。滅多に着ない服は、好天時に陰干ししたり風を通したりした方がよい。また、クロゼットの中に照明電球がついていることがあるが、これは湿気とり用と理解してときどき閉めて点灯すると、カビよけになる。

皮革製品、絹製品は陰干しし、風通しのよいところに置くべきである。ナフタリン(防虫剤)は、スーパー・華僑系商店・薬局などで入手できる。

 Yellow Page

2-4 美容院、理髪店

美容院は市内に数軒あり、男性の理髪も行っている。カットのみで\$80～100SBD程度だが技術はそれほど高くない。10分程度で終わる。東洋人の直毛に慣れていない理美容師もいるので、事前に在留邦人から情報を収集した方がよい。以下に挙げるヘアサロンはいずれも在留邦人が利用しているので慣れており、ヘアカット、カラー、セットなどのほか、マッサージやマニキュアなどのサービスも有る。営業時間内でも閉まっていたり混み合っていたりすることもあるので、飛び込みではなく予約をしておいた方が無難である。

自宅で散髪をするのであれば、理髪用具は持参した方がよい。整髪用品は持参するほうが無難である。

・トリッシュ(TRISH'S HAIR SALON)

所在地: ホニアラ市キングソロモンホテル
横電話 : 27851

月～金 : 9:00～17:00

土 : 9:00～12:00

・カッtonスタイル(CUT'N'STYLE)

所在地: ホニアラ市パナティナ・プラザ内
電話 : 38865

月～金 : 9:00～17:00

土 : 9:00～12:00



トリッシュ・ヘアサロン

3. チップ



3-1 チップ事情

(1) 習慣の有無

ソロモンにはチップの習慣はない。

(2) 各種サービスに対するチップ

習慣なし。

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

レストランと呼べるものはホテル内のものも含め十数軒程度しかなく、選択肢は限られているため、長期滞在者が赴任中の食事すべてを外食で済ませるにはそれなりに覚悟が必要である。深夜営業のレストランはない。

(2) 飲食店

日本人がよく利用するホニアラ市内のレストランは以下のとおり。

・白梅 HAKUBAI(メンダナホテル内)

・カピタナ CAPITANA INTERNATIONAL RESTAURANT(メンダナホテル内)

・ゴールデンクラウン GOLDEN CROWN RESTAURANT

・シー・キング SEA KING RESTAURANT

・ホンコンパレス HONGKONG PALACE

・フーリー FU LI RESTAURANT

・タジマハール TAJI MAHAL

・オーシャンビュー OCEAN VIEW RESTAURANT(パシフィックカジノホテル内)



カピタナ

Yellow Page

- ・ジーナズ JINA'S RESTAURANT
- ・ニッキーズ NICKY'S FAST FOOD
- ・ライム・ラウンジ LIME LOUNGE
- ・ファンレストラン FUN RESTAURANT
- ・バンブーカフェ BAMBOO CAFÉ(キングソロモンホテル横)
- ・レインツリーカフェ RAIN TREE CAFE

他に、最近オープンしたHyundai Mallにも何件か飲食店がある。

Yellow Page

4-2 食料

(1) 一般事情

日常の食生活に必要なものは、市内のローカルマーケット、スーパーマーケット、個人商店などで入手する。日本食品は醤油やワサビ、みりん等が手に入るが、品切れになることもある。当地産の魚、肉、野菜、果物以外の食料品はオーストラリア、ニュージーランド、東南アジア、中国などからの輸入品が多い。多くの店では製造年月日にあまり注意を払っていないので、購入時には注意が必要である。

(2) 主な食品の出回り状況

<米>

米はソロモン人の主食のひとつであり、豊富に出回っている。もっとも一般的なのが「ソルライス」というオーストラリア産米。ジャポニカ種だが、日本のものに比べると味は悪い。このほかいくつかのジャポニカ米の長粒米や玄米が売られているが、日本人が美味しいと思うものではない。時折、当地台湾農場産米、オーストラリア産ジャポニカ米が出回ることがある。

<麺類>

スーパーマーケット(WINGS、Y.SATOなど)では、麺類は各種手に入る。きし麺風・うどん麺、ビーフンなどの乾麺のほか、日本ブランドの東南アジア各国製インスタントラーメンは常時購入可能である。スパゲッティ・その他パスタ類も比較的出回りが多い。

<パン>

食パンは、多くの店でイギリス式に薄くスライスしたものを売っている。市内にパン専門店がある(HOT BREAD KITCHENなど)。

<魚介類>

新鮮な魚などは、中央市場(日曜休み)とククムのフィッシュマーケット(土曜休み)で入手できる。ククムハイウェイ沿いには何ヶ所か漁師が直売を行う露店が出る。一部スーパーマーケットには、冷凍の切り身、エビ、イカ類、スモークサーモンなどを置いて



ホニアラ中央市場

いるところもある。

<肉類>

牛、豚、羊、鶏肉(生肉)は市内の肉屋、あるいはスーパーで部位別の冷凍パック詰めで売られている。加工品はソーセージ、ハム、ベーコンが入手できる。いずれも常時入手可能とは限らないので、多少の買い置きが必要である。

<卵、乳製品>

牛乳は1リットルパックのロングライフ牛乳、粉ミルクがほぼ常時ある。バター、マーガリン、各種チーズ、生クリーム、サワークリーム等もほぼ常時入手できる。いずれもオーストラリアまたはニュージーランド産。卵は地元産。

<野菜>

国産の野菜はマーケットで、サツマイモ、タロイモ、ヤムイモ、キャッサバ、チンゲンサイほか数種の中国青菜、ピーマン、ナス、トマト、レタス、いんげん豆、長ネギ、キュウリ、ニガウリ、カボチャ、トウモロコシ、ショウガなどが手に入る。大根、キャベツ、オクラ、白菜もときどき出回る。

ニンジン、タマネギ、ジャガイモ、ニンニクはスーパーで輸入品が売られており、品切れになることもある。輸入物の白菜、カリフラワー、ブロッコリー、トマト、セロリ、キャベツなども一部スーパーでときどき売られている。一部の華僑系商店ではモヤシや豆腐が手に入る。

<果物>

地元産のバナナ、パパイア、ココナツ、ライムは年中入手可能である。季節により、パイナップル、マンゴ、ザボン、グレープフルーツ、グアバ、スイカなどの熱帯果物が出回る。スーパーでは輸入品のリンゴ、オレンジ、キウイフルーツ、ブドウ、洋ナシなどが入荷することがある。

<調味料>

洋風・中華風のソース、スパイス類はスーパーマーケットで各種手に入る。日本の調味料は、醤油以外ではみりん、すし酢等がたまにスーパーに入荷されるが、需要が少ないため賞味期限切れ後もそのまま置いてあったりするので注意が必要。

<食用油>

ココナツオイル以外は、すべて輸入品である。

<酒類>

一部スーパーと酒類販売店で各種洋酒が購入できる。ビールは地元のビール会社が「SOLBREW」を生産している。輸入ビールとワインはオーストラリア製が大半である。

<飲料水>

ミネラルウォーターを購入するほか、雨水タンクがある家では煮沸・濾過などの処理をして飲用している。水道水は石灰分が多く、煮沸すると白く沈殿物が残る。

(3)食料の入手

日本食品は醤油・みそ・マヨネーズなど大抵のものがY・サトウ商店で手に入る(貨物船のスケジュールの都合で品切れになることもある)。みりん、わさび、すし酢、のりはスーパーで入荷することがある。

スーパーマーケットは市内中心部に2軒、パナティナ・プラザ(PANATINA PLAZA)に1軒あるほか、個人商店が数多くある。市内の店をこまめに歩くと、意外なもの、たとえば、干しシイタケ、タイ産のスルメ、乾燥海藻、乾燥小魚、中国産干うどんなどを入手できることもある。一部商店は、土曜の午後や日曜日も営業している。

Yellow Page

<スーパーマーケット>

- ・ウィングス WINGS
- ・デリ・イン・ザ・プラザ



デリ・イン・ザ・プラザ

4-3 食器、調理器具

(1)食器、調理器具などの入手

市内スーパー、商店で入手する。洋包丁、まな板、鍋、フライパン、おたまやフライ返しなどの台所小物、水切りカゴやボウルなど調理器具は、各種売られているが、品質があまりよくなかったり、非常に高価であったり、探し出す根気も必要となるので、質を問うものは持参の方がよい。

食器類は、食べることに不都合のない程度の食器は揃うが、品揃えが少なく、質、デザインとも満足なもの少ない。メラミン樹脂製・ガラス製食器が多い。

(2)日本から持参したほうがよい食器、調理器具など

「質を問うもの」、「日本以外では一般的ではないもの」は持参の方がよい。例をあげれば、和包丁(柳刃、出刃)、圧力鍋、おろし金、しょうゆさし、スライサー、和食器、大皿、茶器、はし、割り箸、粗目および中目の砥石、ステンレス製の鍋、テフロン加工の鍋やフライパン、卓上ガスこんろ、魚焼き網など。

5. 生活用品の購入



5-1 家電製品

市内の華僑系各商店で、中国製・東南アジア各国製など粗悪品から一応評価できるものまでさまざまに雑然とかつ品揃えもなく、ただ在るもの・入荷したものを売るとというのが実態である。

小さな街の中でいくつか有る店を覗いて廻って在るもので気に入れば買えばよい。1-7(3)参照。

・C & I Distributors Ltd.

所在地 : パナティナ・プラザ PANATINA PLAZA

電話 : 30153



パナティナ・プラザ

FAX: 30132

営業時間 : 平日朝8時～午後5時、土曜朝8時～午後1時半、日曜休業

備考 : 冷蔵庫・電子レンジ・ホットプレートなど、比較的良いものがある。

5-2 家具

多くの住宅は家具付きである。また入居時に家主と交渉すれば補充してもらえる場合もある。購入するのであれば、希望のデザインで比較的安く作ってもらうこともできる。輸入家具を扱う業者もいくつかある。

 Yellow Page

- ・Bowmans (輸入販売)
- ・Tropical Quality Furniture (製造販売)
- ・SA Furniture

5-3 日用品、雑貨

 Yellow Page

上述のスーパーや個人商店、最近オープンしたHyundai Mallで購入できる。質を問わずこまめに廻れば通常の生活に必要なものはとれあえず生活に支障のないレベルで入手可能である。こだわりのあるものは日本から持参したり、留守家族に定期的に送付してもらうアレンジをした方がよい。ただし通関手続きや途中の紛失は覚悟すべきであろう。

5-4 工具、素材

 Yellow Page

何軒かのハードウェア・ショップがあり、特殊なものを除き、質を問わなければある程度の品目については入手可能である。日本で一般的ながら当地にないものとしては穴あけキリがある。鋸は西洋式のものである。

- ・Bowmans
- ・ITA Hardware
- ・LKP Hardware

6. 金融機関



 Yellow Page

6-1 金融機関

(1) 銀行

市中銀行としてはANZ銀行、WESTPAC銀行、SOUTH PACIFIC銀行の3行がある。日本人はANZ銀行に口座を持つ者が多い。いずれの銀行でも外貨預金(ソロモンドル以外での預金)は扱っていないので、大半の関係者はアメリカのユニオンバンクを滞在費受取口座として開設し、その口座の小切手を当地でANZ銀行に預け入れる方法や、ユニオンバンク等の海外口座からの海外送金を指示する方法で預金資金を取り寄せている。

- ・Bank South Pacific
- ・Australia & New Zealand Banking Group Ltd. (ANZ Bank)

・WESTPAC

(2) 口座の開設と閉鎖

該当情報なし。

(3) 小切手

当座預金口座を開設し、その際に小切手帳の発行を申し込む。一部の一般商店では個人小切手支払いを受け付けないところもあるが、公共料金の支払いには便利である。小切手振出し時に裏書き署名を求められることがある。

(4) 換金方法

米ドル、豪ドル、ユーロ、円等、主な外貨からの両替が可能である。手数料は金額にかかわらず1回あたりでとられる。市内の主要ホテル、銀行いずれでも両替可能だが、交換レートは銀行の方がはるかによい。また現金よりもトラベラーズチェック(T/C)の方が交換レートはよく、特に日本円の場合はT/Cでの持参を薦める。

6-2 クレジットカード

主要ホテル、一部レストランではクレジットカード払いは可能だが、未対応の商店も多い。また、利用可能な場合でも適用される両替レートが市中のものに比べて悪い場合が多い。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1) 一般事情

< 道路 >

ホニアラでは、海岸線と平行に東西に幹線が走っている。全長は約140km、そのうち舗装されているのはホニアラから東西にそれぞれ40kmほどである。市街地から空港までの幹線道路は一部4車線(片側2車線)化された。ホニアラ市街地では、幹線から南の山側に向かって支線が何本も延びている。交通標識はほとんどない。

ホニアラの幹線・支線の多くは舗装されてはいるが、整備状態が悪い。道路には穴が多く、セダン車は注意しないと頻繁に腹を擦る。またスコールのは水たまりが各所にできる。

< タクシー、バス >

公共交通手段として、タクシーとミニバスがある。タクシーは流しをつかまえることもできるが、メーターがないので可能な限り電話をかけて呼び、また事前に相場を第三者に聞きかつ乗車前に運賃を確認するのが望ましい。市街地内の料金は1kmあたり10ソロモンドルほどを基準として



タクシー

いる。ヘンダーソン国際空港からホニアラ市内のホテルまでは80-100ソロモンドル程度である。



バス

ミニバスは前部に行き先が表示されており、早朝から夜8時頃まで、主に幹線道路を運行している。時刻表はないが本数が多いので、長時間待つようなことは滅多にない。路線は

単純なので利用しやすく、女性が一人で乗っても特に問題はない。市街地内の正規運賃は4ソロモンドルだが、実質3ソロモンドルである。

・Kings Taxi Service

電話 : 27888

・Jets Taxi Service

電話 : 25111

< 航空機 >

国営ソロモン諸島航空(Solomon Airlines 通称Sol-Air)が国内各州に小型機を運航している。需要に応じて1日2便から週1便程度運行しているが、故障、天候不良等で頻繁に欠航・時間変更が起きる。予約をしていても必ずしも運行するとは限らないので、地方に行く場合にはある程度余裕を持って日程を組んだ方がよい。

< 船舶 >

各州政府、州公社や民間海運会社が週1往復から月1往復程度、それぞれの州に運行している。運行スケジュール・料金は、目的地に応じて各海運会社に照会する。ウエスタン州、マライタ州行き以外は貨物船であり、あまり快適ではない。

(2) 空港から市内への移動

ヘンダーソン国際空港から市街へは15kmほどで、所要時間は約20分程度である。メンダナホテル等主要ホテル滞在者は事前に依頼しておけば送迎サービスがある。

(3) 自家用車を利用する場合

当地では強引に割り込む光景は少なく、日本以上に譲り合いが見られる。他方、幹線道路を走っている車のスピードのことをあまり考えずに、わき道から進入する車もある。また幹線道路でも陥没箇所が多いため、急ハンドルや急ブレーキが多く要注意である(特に脇見運転は事故に繋がる可能性が極めて高いので厳禁である)。街路灯が少ないので、夜間運転する時には、歩行者やジョギング中の人、特に酔っぱらいに十分注意する必要がある。週末は酔っぱらい運転も多くなるので気をつけなければならない。

当地では信号機はなく、主要交差点は英国式のラウンドアバウト方式(右方車優先)である。

道路横断は無秩序なので横断者には要注意である。ただ、一般に歩行者の方が譲る傾向にあるので、逆に歩行者の立場に立つと、横断していても平気でつっこんでくる車も多いので注意を要する。例外は横断歩道で、ここでは歩行者優先が徹底しているため、ある程度スピードを出した車が来ても平気で渡りだす歩行者が多い。

(4) レンタカーなどを利用する場合

以下のレンタカー会社があり、日本の運転免許証で運転できる。(料金等は2011年7月現在)



・AVIS

・Economy Car Rentals

AVISはレンタカーは距離無制限料金のみで、車種により1日745ソロモンドル、最もポピュラーなRAV-4が1日745ソロモンドル。料金は強制保険料(CDW)込み。搭乗者保険料(PAI)は任意である。料金以外に、借上げ時にデポジットを払う場合が多く、上記2社の場合一律5000ソロモンドルが必要である。これは車の返却と引き換えに返金されるが、事故等で車が損傷した場合はデポジットの額を上限に使用者が自己負担し、これを超える部分については保険で負担される仕組みになっている。レンタカー料金はかなり高いので、休日に長距離ドライブするような場合を除いては、あまり勧められない。

ホニアラは小さな町なので、町の中の業務であれば車を使用せずに徒歩で十分である。タクシーを利用すると安価である。

(5) 地図

ホニアラ市街地は比較的単純な構造なので、観光パンフレットにある程度の地図で事足りる場合が多い。より詳しい地図を入手したい場合は、土地調査省(Department of Land and Survey :キングソロモンホテル近く)(電話 :21511)で、政府発行の1万分の1の「Honiara Town East」と「Honiara Town West」(1988年製)の2枚を揃えればホニアラ市街地はカバーできる。そのほか、ソロモンのほぼ全土が15万分の1の地図でカバーされており、メンダナホテルほか市内の文具店などで販売されている。

7-2 交通事故、盗難

(1) 対処方法

人身事故の場合、救急車を呼ぶ(電話 :999あるいは911)か、あるいはけが人をホニアラ中央病院に運ぶようにする。電話がなくて救急車を呼ぶことができないケースが多いので、車がある場合はけが人を中央病院に運ぶほうが早い。けが人がない交通事故の場合は警察を呼び(電話:999)、事故証明を発行してもらい、保険会社にも事故報告をする。小さな接触事故のようなものは、示談となることが多い。

自損事故で任意保険にてカバーできる時は、保険会社に事故報告をして、修

理工場2社以上に見積もりを出してもらい、保険会社の指示に従って修理に出すことになる。

(2) 救急病院

負傷者はホニアラ中央病院に運ぶ。国別医療情報(<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/medical-p.html>)を参照。

(3) 車両の盗難、車上荒らし

車両の盗難はRAMSI展開以降減少傾向にあるとはいえ、依然として少なくない。パーツの盗難(アルミホイール、ミラー、ラジオなど)、車上荒らしも多いので、気をつけたほうがよい。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

日本と同じ左側通行であり、法規は日本とだいたい同じである。自動車運転時に携帯するものとしては、自動車免許証と自動車保険証及び事故表示三角板がある。その他事情は、7-1(3)参照。

(2) 罰金、罰則

交通違反をした場合は、200～1000ソロモンドル程度の罰金を支払うことになる。

7-4 車の修理

(1) 部品

それぞれの車のメーカーの代理店に行って調達する。市中に多い車種(たとえばトヨタカローラ、ニッサンサニー、スズキジムニーなど)の部品の在庫は多いが、在庫がない場合は、日本から取り寄せてもらうことになる。

(2) 修理工場

それぞれの車のメーカーの代理店に行って修理を依頼する。修理専門の工場もあり、こちらのほうが修理代金はかなり安い。板金や塗装の技術は、標準レベルである。

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

ソロモン諸島では、固定電話、国際電話、インターネットとも、アワ・テレコム社(Our Telekom (旧ソロモン・テレコム))が独占サービスを行っている。これらの申し込みは市内のテレコムオフィスで受け付けている。新規開



テレコム

線には通常1～2週間程度かかる。電話器はテレコムでレンタルないし購入できるほか、ホニアラ市内の一部商店で販売している。携帯電話については、アワ・テレコムの他、2010年4月よりPNG系のB-mobileがサービスを開始し、首都ホニアラ等都市部の他、テレコムのサービス圏外となっている地方村落部の一部をカバーしている。なお、他人が無断で長距離通話をするのを防止するため(自宅ではメイドによる、職場では同僚によるこうした被害は多い)、申し込み時には長距離通話及び国際通話については暗証番号の登録による通話制限をすることができる。

公衆電話はカード専用で、テレフォンカードはテレコムで購入できる。

(2) 国内電話

ホニアラ市内、地方とも、5桁の番号によるダイヤル直通である。料金は、ホニアラ市内では時間無制限で1通話0.70ソロモンドル。他の地方との通話は1分あたり2.96ソロモンドル(料金はいずれも2011年7月現在)。いずれの場合も回線の混み具合によって繋がり難い場合がある。

(3) 国際電話

国際通話は直接かけることができる。最初に00を付け、以下国番号、エリア番号(日本であれば市外局番の0をとった数字)をダイヤルする。たとえば東京にかける場合は00-81-3-先方番号となる。料金は、日本までだと1分間 18.96ソロモンドル(2011年7月現在)。

尚、上述の00に代えて01を用いる”Premium 01 Service”という廉価サービスも開始されている。この場合世界どこへかけても7.50ソロモンドルという触れ込みであるが、00に比べて繋がり難い場合がある。

(4) 携帯電話

たいていの地域ではプロトコルはGSM方式であるが、2010年4月から首都ホニアラでは3G方式が導入されている。アワ・テレコムのカバーエリアはホニアラ市内及び周辺と主な州都周辺(2011年7月現在)、B-mobileのカバーエリアは右に加え、地方村落部の一部となっている。電話機はテレコム/B-mobileショップまたはホニアラ市内の一部商店で購入できる。料金はアワ/テレコムが通話1分間3.10ソロモンドル、文字メッセージ1回あたり1.00ドル(2011年7月現在)、固定電話へかける場合は通話料金に固定電話料金が上乗せ課金される。B-mobileは通話1分間1.50ドル、文字メッセージ1回あたり0.99ドル(2011年7月現在)、固定電話へかける場合は通話料金に固定電話料金が上乗せ課金される。

料金システムはポストペイドとプリペイドの2種類ある。前者は月締めで請求書が発行されるのに対し、後者はプリペイドカードを購入して使用時間を補充して使う。アワ/テレコムの場合、プリペイドカードはテレコムまたはホニアラ市内の一部商店で22.00、55.00、110.00ソロモンドルの3種類が売られている他、MeTopUpの看板がある店で好きな金額分を補充できる。B-mobileについても同様のシステムをとっている。

8-2 電信

(1) ファクシミリ

電子メールの普及に伴い、徐々にその利用頻度は下がっているが、省庁や企業では使用しているところが多い。ファックス機は、電話局および事務用機器販売店で販売されている。また、テレコムからのレンタルも可能である。そのほか、電話局から送受信することもできる。

(2) テレックス

ファクシミリ及び電子メールの普及に伴い、あまり一般的ではなくなっている。

(3) 電報

ファクシミリ及び電子メールの普及に伴い、あまり一般的ではなくなっている。

(4) インターネット及び電子メール

電話局(Our Telekom)が独占プロバイダーである。ADSLサービスも最低速度(128kbps)のもので、モデム料金1,050.00ソロモンドル、1ヶ月あたり870.00ソロモンドル程度から(2011年7月現在)。ADSLモデムはテレコム提供のものに限られている。自宅回線にインターネットを接続したい場合はダイヤルアップ、ADSLのいずれの場合もテレコムで申し込む。通常開通まで2週間程度を要する。3G対応のUSBタイプ携帯型モデムも近年販売されているが、利用料金1MBあたり2ソロモンドルの完全従量制で、上記より若干高めである。携帯型モデムの料金は695ソロモンドル。3Gが利用可能なエリアでしか使えない(2011年7月現在、ホニアラ市の一部のみ)。

インターネットカフェは市内に数カ所あり、大抵の場合マルチリンガル対応なので日本語で読める(日本語入力はできない)。他に、ソロモン・キタノ・メンダナホテルのように大きなホテルではインターネットサービスを備えていることが多い(有料)。

8-3 郵便

(1) 一般事情

当国には郵便物の宅配制度がないので、JICA関係者は通常、JICA支所又は配属先の私書箱を利用している。

小包や書留が届いた場合は、郵便物到着のはがきを送られてくるので、そのはがきを持って郵便局に受け取りに行く。受け取りの際には郵便物の重量に応じて取扱手数料を徴収される。



当地と日本との間の所要日数は、航空郵便の場合は1～2週間である。

書留や速達(EMS)も扱っている。日本から船便で小包を送る場合は、早くても2カ月、遅いもので7カ月、平均で4～5カ月である。日数はかかるが、紛失することは少ない。

日本宛ての航空郵便は、手紙類は10gまで95セント、10g以上は10gごとに70セントであり、印刷物と小形包装物は50gまで95セント、それ以上は30gごとに60セントである。印刷物は最大 2kg、小形包装物は最大 1kgまでである。船便による海外への郵送は行われていない(いずれも2011年7月現在)。

(2) 課税・検疫

海外からの小包はすべて開梱され、図書資料以外は課税対象になる。

課税は、窓口の担当者の判断による。少額の場合は課税されないことが多い。DVDについては厳しく、録画内容の検査が前提となっている。

小包受け取りの際には、抜き打ちで防疫検査が行われることがある。特に畜産品は場合によっては没収処分となるケースもある。

(3) 国際宅配サービス

郵便局がEMSサービスを行っているほか、DHL代理店もある。3～4日で届く。



・BJS Agencies Ltd.(DHL代理店)

日本までの料金(目安) : 書類の送付390.00ソロモンドル(2011年7月現在)

9. コンピューター



9-1 ハード、ソフト

(1) 調達の方法

市内には数件のコンピューター販売店があり、機種や機能を問わなければ、基本的なハード、ソフト類の入手は可能である。ただしすべて英語仕様であり、日本語仕様のものはない。日本人は通常、自らの使用するコンピューターは一式日本から持参している。

(2) 使用の際の注意

ラップトップは240V対応かどうかチェックすること。電圧が不安定かつ頻繁に停電があるので、デスクトップ型コンピューターにはサージプロテクター付きのUPS(無停電電源装置)は不可欠である。

(3) 修理

修理可能とする業者もいるが対応可能なものは限られている。国内では修理できないと覚悟しておいた方がよい。

10. 職場環境、勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

当地政府は通常午前8時00分から午後4時30分までで、12時から1時までが昼休みとなっている。部署にもよるが残業する者は少ない。

(2) 有給休暇

省庁・政府機関の場合、職位によって決まった日数が与えられている。最長は上級官僚の42日間/年。

(3) 執務室

職場、立場により異なる。省庁の場合、Director(課長)級以上は個室を持つのが一般的。

(4) 通勤事情

ホニアラでの通勤は、ミニバスまたは乗り合いトラックを利用するのが一般的。機関によってはバスなどで送迎することもある。日本人を含む外国人は、自家用車で通勤するのが一般的である。

11. 出入国手続き



11-1 入国

(1) 空港施設概要

ターミナルビル、滑走路、誘導灯等、現在の主な施設は日本の無償資金協力で建設されたものである。タラップを降りてから100mほど歩いて、空港建物に入る。入国手続きを済ませ、別カウンターで検疫(通常、機内で記載した申告書を提出するのみ)を済ませた後、荷物を引き取り通関に進む。ターミナルビル内にエアコンがないので、降機前に暑さに備えておいた方がよい。

(2) 入国手続き書類

入国カード、税関申告書、検疫申告書が必要である。いずれも機内で配られる。

(3) 入国審査

帰路航空券があれば、ビザがなくても観光の場合3カ月、ビジネスでは2週間の入国が許可される。

(4) 税関・防疫検査

麻薬、銃器のほか、生鮮食料品、果物、肉製品、花、土等は原則として持ち込み禁止である。動物(ペット)は、国内に検疫所がないので、豪州での検疫を経て持ち込む必要がある。検疫制度は全て豪州のものが準用される。DVDは内容を検査され、課税される。

(5) 空港内での留意点

空港ビル内での飲酒、喫煙は禁止である。

(6) 出迎え

該当情報なし。

(7) 空港からの主な交通手段

空港から市街へは15km約20分ほどである。タクシー料金は80-100ソロモン・ドル(2011年7月現在)である。路線バス(マイクロバス)は、空港から街まで4ソロモン・ドルであるが、本数が少ない。主要ホテルの滞在者は事前に連絡しておけば送迎サービス(有料)がある。

(8) その他の留意点

税関を出た先のロビー(出発ロビー)に両替所がある(但しレートは市内銀行よ

りも悪い)。市内のホテル、銀行いずれでも交換できるが、銀行のほうがはるかに交換レートは良い。

11-2 出国

(1) 出国時の概要

預け荷物のX線検査(2011年7月現在、機材の故障により行っていない)後、搭乗手続きを済ませ、出国カードを記入して出国待合室に向かう。出国手続後、手荷物検査を受け、搭乗まで待合室で待機する。搭乗待合室には小規模な土産物店が2軒ある。

(2) リコンファーム

時間変更や欠航が比較的多いので、24時間前に確認しておくが良い。

(3) チェックイン

チェックインは通常フライトの3時間程度前から始まる。当地ではしばしばオーバーブッキングによる積み残しが発生するので、早めにチェックインを済ませておいた方がよい。

(4) 空港利用税

2008年7月より空港利用税は航空券代に含まれることになった。

(5) その他の留意点

豪州の電子ビザ・ETASはソロモン航空や旅行会社のGTSが代理発行業務を行っているが、この場合は100-200ソロモンドルを支払う必要がある。

11-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

特になし。

(2) 車の処分

後任者がいる場合は後任者に売却するのが最も簡単。そうでなければ、口コミ、新聞広告、スーパーマーケット等の掲示板を利用するなどの方法があるが、現金で一括払いできる地元民は多くなく、早めに確かな買い手を探しておいた方がよい。免税で購入した車でも、24カ月を経過すれば、税金を払う必要がない。

(3) 家財道具の処分



日本に家財を返送する場合は、輸送会社に依頼して、航空貨物あるいは海上貨物として返送する。あるいは、郵便局から航空便で返送する。ソロモンで売却処分する場合は、友人・知人に売却する方法や、スーパーマーケット等の掲示板に売却品リストを掲示して一般に広く売却する方法がある。ガレージセールのはなしはない。帰国時期が近づいてくると、家主や使用人、近所の人などが処分可能な家財道具について照会してくることもある。

(4) 住宅の明け渡し

家主へは契約で決められた月数に従って、前もって通知しておく。

(5)電気・水道・電話等料金

いずれも締め切り時点の使用量に従って事前精算が可能。特に電話回線を残したままにしていると、本人がソロモンを去った後で家主や使用人にその回線を使われて契約者不在の料金が発生し、関係者が非常に迷惑することになるので注意。

(6)外貨持ち出し規制

外貨持ち出し規制はないが、現地通貨は250ソロモンドルしか持ち出せないことになっている。

12. 治安、 緊急時の心得



生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

12-1 暴動、クーデターなど

(1)一般事情

当地は1998年末から2003年7月まで部族紛争(エスニックテンション)が起き、2000年には首相軟禁事件も発生している。最近では2006年4月に首相選挙の結果に不満を持った一部の市民により中華街、中華系ホテルなどで略奪、放火行為が行われた。RAMSI展開により状況は改善しているが、騒ぎあがれば便乗して略奪機会を窺う無職青年も多いことから、治安状況への目配りは必要である。また、過去サッカー大会の結果に怒った熱狂的ファンが暴動を起こしたこともあるので、特に州対抗戦の際には気をつけておいた方がよい。

(2)普段の心構え

政治動向には興味がなくとも気を配っておく。但しソロモン人と必要以上に政治的な会話を交わさないようにする。また、政治的なものでなくても人が集まると小さな火種が暴動の原因になることもあるので、できるだけ集団には近寄らないようにする。また、同僚の現地人からも常に情報収集を行うこと。

(3)発生時の対処法

大使館からの指示・通知に従うこと。

12-2 強盗、盗難

(1)一般的治安状況

RAMSI展開後、強盗事件は激減した。しかし当地では伝統的に窃盗に対する罪の意識が低く、被害額を問わず盗難は依然少なくない。

(2)住宅の防犯対策

第一に、入居時に立地や当該家屋の防犯措置について十分チェックすることが肝要。夜間セキュリティライト、セキュリティスクリーン(太い金網でできておりサイクロネットともいう)のほか、セキュリティフェンスもあったほうが望ましい。しかし侵入道具持参の常習犯にはこうした防犯措置はあまり効果がない。警備会社もあり警備員の雇用も可能であるが、派遣される人材についてはよく審査する必要がある。番犬も効果がある。

(3) 市中での防犯対策

スリやひったくり事件も発生することがあるので、いたずらに大きな財布を露出するようなことは避け、隙を見せないようにする。また、ホニアラ市内であっても知らない場所を訪ねる時には信頼できるソロモン人を伴うのが望ましい。

(4) 注意すべき場所、危険地域

ナイトクラブやバーでは、特に週末には喧嘩が頻発し、ともすると集団同士の抗争になって巻き添えになることもあるので近寄らないのが無難。マーケットでは時折スリや引ったくりが発生する。酔っぱらいには近づかない。

(5) 被害時の心得

犯罪に巻き込まれそうになったり、巻き込まれてしまったらすぐに警察に連絡する。

12-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

稀に大型のサイクロンが襲来する。またソロモン諸島はプレート境界沿いに位置するため、地震が頻発する。そのため、地震に伴う津波や地すべりの記録も非常に多い。

近年では1986年のサイクロン「ナム」、2003年のサイクロン「ゾエ」、2007年の西部州地震・津波が、甚大な被害を与えた。

(2) 防災対策

連絡網を定期的に点検する、1,2週間分の食料・水を備蓄しておく、停電に備えてランプや懐中電灯、情報収集のためのラジオ、乾電池を用意する、バケツに貯水しておく等。

(3) 被災時の心得

自発的に関係機関に連絡し、安全確認に協力する。

12-4 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL:22953
警察	TEL:999
消防	TEL:988
救急車	TEL:911
自然災害	TEL:955
海難	TEL:977

13. 社交



13-1 風俗習慣

ソロモン諸島には各村独自の言語が80種類以上あり、その同一言語を話す一族を一般に「ワントーク」という。都市に出てきても、同郷の人たちの結びつき

は強い。一軒の主人を頼って、数多くの「マスター・リユー」と呼ばれる無就業者を含め、何人ものワントークが寄宿するケースが多い。血縁がなくてもワントークであれば面倒を見るべき、また見てもらえるという暗黙の了解がある。彼らの社会生活を見ても、ワントーク制抜きに考えられない部分が多い。

人々は素朴、親切でおおらか、恥ずかしがり屋で体面を気にするが、仲間意識が強く嫉妬心も強いと言われる。また、酒を飲むとコントロールがきかず、トラブルが多くなるので注意が必要である。

13-2 パーティーでの留意点

ソロモン人から結婚披露宴などに招待されることが多い。招待された場合は、気のきいたプレゼントを持参すると良い。

ソロモンの伝統的な催し物の時の料理は、石蒸し料理である。ホニアラでこの料理に接する機会は、結婚披露宴やクリスマスなどに限られる。地方の村の方がそうした機会が多く、鶏や豚を料理して歓迎してくれることもある。村などでたくさん出されて、食べきれない場合は残しても構わない。

13-3 来客時の留意点

日本人が家の中で靴を脱ぐことはかなり知られており、自宅に外国人やソロモン人を招いた時に靴を脱ぐように頼んでもかまわない。宗教によって食事が制限される人もいるので、事前に確認しておくとうい。

13-4 訪問時の留意点

オーストラリア人など外国人のパーティーに招かれた時は、自分の飲み物(缶ビール、ワイン、ソフトドリンク)を持参するのが普通である。

13-5 禁止されている言動(タブー)

一般常識と西欧的な礼儀を心得ていれば、問題ない。路上、公園、空港ターミナル内、政府庁舎内など公共の場所での飲酒は禁止されている。また日本同様、閉鎖空間での喫煙も禁止されているところが増えている。

勤務上ではスタッフの失敗などを他のスタッフの前で面罵することは避け、一対一になる機会を作ってから穏やかに注意する。これは家庭の使用人においても同様。

地方の村を訪れた場合はカスタム・プレイス(又はタンブー・プレイス)と呼ばれる祭祀上の禁忌地がある場合が多いので、知らずに踏み込まないように注意する必要がある。その他、地域によって様々な慣習上の禁忌があるので、訪れる際は現地の人にアドバイスを求めること。

13-6 日本人会

ホニアラ在住者は全員で70-90名程度で、ほとんどが顔なじみである。フォーマルな形の日本人会はないが、ハウスパーティやピクニック、スポーツなどで親交を深めている。総じて関係は良好である。

13-7 JICA帰国研修員同窓会

JICA帰国研修員同窓会は部族紛争後、一時休眠していたが現在は活動中である。(2011年7月現在)

13-8 現地の人々との交流

野球チームを作ったり、教会のコーラスに参加したり、各人が趣味と関心の範囲に応じて交流を行っている。

13-9 対日感情

一部で言われるような太平洋戦争の影響による反日感情は全くないと言って良いので、このような誤解は避けたい。むしろ、一般的に非常に親日的な人が多い。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

日本の小学校に相当するプライマリースクールは、6年制である。就学年齢(新学年は1月から始まる)はまちまちで、6-9歳くらいである。就学率は77%である。(1999年 教育省統計) 政府は小学校に全児童が通うことを奨励しているが、義務教育ではない。

日本の中・高等学校に相当するセカンダリースクールは7年制(大学予科であるフォーム7を含む)である。

高等教育機関としては、ソロモン諸島高等教育学院(Solomon Islands College of Higher Education = SICHE)があるのみで、大学進学者は当地のUSP Center(University of South Pacific=Fijiの大学のサテライト校)に通う(ただし、取得可能なコースは多くない)、通常はフィジー、オーストラリア、パプアニューギニア、ニュージーランド等に留学することになる。

各種教材の不足もあり、教育水準は高いとは言えない。

(2) 日本人学校

ホニアラ在住の日本人子女の数は10人以下(幼児から小学校低学年まで)で日本人学校はない。

子女の教育に関しては海外子女教育振興財団に相談するとよい。

< 海外子女教育振興財団 >

URL : <http://www.joes.or.jp/>

E-mail : service@joes.or.jp

受付時間 : 9:30 ~ 17:30 (月曜日 ~ 金曜日、祝日・年末年始を除く)

< 東京 >

住所 : 〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

TEL : 03-4330-1349

FAX : 03-4330-1355

< 関西分室 >

住所 : 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-200 大阪駅前第一ビル2階

TEL : 06-6344-4318

FAX : 06-6344-4328

(3) 現地校、外国人学校

外国人は、ウッドフォード・インターナショナルスクールが、中華街にあるチュン・ワ・スクール、SDA系のパーム・ドライブスクールで教育を受けている。ウッドフォードでは、プレイグループ(1歳半以上、午前中のみ、保護者同伴)、から幼稚園、小学校まで英語で教育を行っている。中学生以上の外国人は、オーストラリアやニュージーランドなどの寄宿学校に入ることも多い。



・ウッドフォード・インターナショナルスクール

・チュン・ワ・スクール

(4) 幼稚園

上記インターナショナルスクールと中国人学校には、それぞれ幼稚園も付属している。

14-2 教育関係施設



(1) 図書館など

市立図書館とUSP(University of South Pacific :南太平洋大学)センターの図書館があるが、書籍はすべて英語で、量・質ともに貧弱である(イメージとしては日本の小学校の図書館以下)。時々、幼児向けの読み聞かせ会が開催される。

なお、日本大使館には若干の日本語の一般図書があり、在留邦人への貸し出しも行っている。

・ホニアラ市立図書館

・USPセンター図書館

・国立図書館



ホニアラ市立図書館

15. 家庭の使用人



15-1 一般事情

普通の家庭での使用人は、家事全般を手伝うメイド(当地で言う「ハウスガール」(house girl)、ピジン語では「ハウスゲレ」と発音する)と、場合によっては庭師及び警備員である。運転手は特別の理由がない限り個人で雇う習慣はない。

15-2 運転手

(1) 雇用

個人で雇うことは稀である。

(2) 日常管理

該当情報なし。

(3) 教育指導

該当情報なし。

(4) その他の留意点

雇うのであれば知人の紹介で身元の確実な人を雇うのが無難である。

15-3 家政婦/夫

(1) 仕事の種類と人数

掃除、食器洗い、洗濯、アイロンかけ、子守などである。通常、日本人家庭ではハウスガール1人を雇っている。夜間にパーティーなどで外出する時、ベビーシッターや留守番を頼むこともある。

(2) 雇用

在留邦人や家主の紹介などで、身元の確実な評判のよい人を雇うのがよい。個人の家庭で雇う場合、契約書を作る必要はなく、条件は口頭で伝えればよい。労働時間は通常、月～金曜日の8:00～16:00で、1時間程度の昼休を設ける。休日は土・日曜日、祝日であるが、土曜日の午前中も勤務を頼んでいるケースもある。

単身赴任者は家事も少ないため、午前中のみ、或いは週2回等の形で雇用することもある。当地では通いが一般的だが、稀に住み込みとすることもある。

賃金は月給400-600ソロモンドル前後で、2週間ごとまたは月末に支払う。だいたい日給で30-50ソロモンドル(半日で20-30ソロモンドル)前後と考えればよい。超過勤務の場合は、時間あたり5-7ソロモンドル、夜間のベビーシッターなどには10～15ソロモンドル程度支払う。バス通勤が必要な場合は、バス代を必要額だけ払うか、その分給料に上乗せする。

雇用時には、「試用期間」として一ヶ月程度仕事ぶりを見る期間を設けるとよい。またその際には、予定賃金より若干低めに抑えておき、本採用時に給料を上げてやる気を出させるという方法が一般的。

昇給は、特に必要と認めた場合にのみ行えばよい。ボーナスの習慣はないが、クリスマス前に数十ソロモンドル程度の小遣いや小さなプレゼント、米・缶詰など

の食料品を渡すことが多い。

当地では、一般に労働者はクリスマス休暇をとることが多い。各家庭の都合にもよるが、1週間から10日程度与える人もいる。また、経験の長いハウスガールの場合、ときとして年間1カ月程度の有給休暇や、2カ月の産休を要求してくることもあるが、個人的に雇っているハウスガールについてはこの限りではない。雇用条件は採用時にはっきりと伝えておくこと。

解雇は口頭で申し渡すだけでよいが、相手が納得しない場合、労働基準局に訴えられることがある。解雇の理由などを明確にすることが必要である。気持ち程度のお金を渡したほうが心情的によい場合もある。また赴任期間があらかじめ決まっていれば、雇用時にその旨伝えておくことも大切。

(3) 日常管理

ビジン英語しか話せないハウスガールも少なくないが、若干の英語は理解できるので、努めて意思の疎通を図るようにするのがよい。特に最初は面倒でもやってほしいこと、やってほしくないことをキチンと指示する必要がある。盗難などが起きないように大切なものは鍵のかかるところに保管すること。また、自宅の電話を無断で使用することもよくあるので、注意が必要である。また住込みの場合、ワントーク(同じ言語を話す同郷人)が集まってきたり、庭を勝手に耕して野菜畑にしてしまったりということもあるので注意を要する。

ハウスガールのなかにはアイロンかけができなかったり、電気製品の扱いに不慣れな人もいる。給料の前借りや借金は、一度応じると頻度と金額がエスカレートすることもあるので、対応には要注意である。採用時に「一切応じない」旨言い渡しておくことよい。

15-4 庭師、ガードマン

庭師には庭の広さに応じ、週1～3回、1回15～20ソロモンドル程度支払う。知人の紹介が多い。ハウスガールと同様、契約書は必要ない。

紛争以降は治安が悪化したため、ガードマンを雇う家も増えた。旅行などで長期間家を空ける時は、夜間の留守番を頼んだほうがよい。ガードマンは、個人で頼むといい加減な仕事しかしない場合が多いので、信頼できる警備会社ときちんとした契約を結ぶことが望ましい。

16. メディア



16-1 新聞、雑誌

(1) 現地発行の日刊紙

・「Solomon Star」・・・唯一の日刊紙。月～土曜の週6日発行。ホテルや一部の商店、レストランなどで販売している。月極めで契約して配達してもらうことも可能。また、インターネットに最新の記事を参照できるウェブサイトもある(<http://www.solomonstarnews.com/>)。

- ・「Expless」・・・週3回(月・水・金曜)発行。販売所は上記Solomon Star同様。
- ・「Island Sun」・・・月～金曜日の発行。販売所は限られている。
- ・「Solomon Isle」・・・週一回(日曜)の発行。

(2) 日本の日刊紙

- 日本のOCSへ申し込む。約2週間遅れで届く。
- ・海外新聞普及(株)(OCS)輸出購読サービス

 Yellow Page

(3) 欧米紙(誌)

該当情報なし。

(4) 日本の雑誌、書籍

日本の出版物が購入できる書店はない。

16-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

国営放送のSIBCのほか、音楽を中心とした民間FM放送が数局ある。言語は英語とビジン英語である。部分的ではあるが、Radio Newzealand、ABC、BBC ニュースを放送していることもある。

(2) ラジオジャパン

天候等の条件に左右されるが、短波放送での受信状態は概ね良好である。

(3) 聴取可能なその他の外国放送

オーストラリアのABC、イギリスのBBCなどが聴ける。受信状態はよい。

16-3 テレビ

(1) 地上波放送局

オーストラリアのABC、イギリスのBBCの視聴可。

(2) 衛星放送、ケーブルテレビなど

パラボラアンテナを備えると、CNN、NHKなどのニュースが終日受信できる。

17. スポーツ、 趣味、



 Yellow Page

17-1 スポーツ

(1) ゴルフ

ホニアラ市内ラナディ地区に9ホールゴルフ場(パー72)がある。ゴルフ用具はソロモンでは購入できないが、メンダナホテルでレンタルが可能。プレー時の服装は普通のスポーツウエアで十分であるが、襟の付いていないシャツ(Tシャツなど)はプレーを許されない。

- ・Honiara Golf Club

(2) テニス、フィットネス

パシフィックカジノホテルにはテニスコートがある。

<スポーツクラブ>

パシフィックカジノホテル、ヘリテージホテルにトレーニングジムあり。ただし、器具は多くない。

(3) その他のスポーツ

<水泳、マリンスポーツ>

ホニアラホテルに水泳用の25mプールがある。スキューバダイビング、ウインドサーフィン、ヨットが可能。ホニアラ周辺には海水浴に適したビーチは少なく、外国人は通常ホニアラの西方車で30分ほどのボネギビーチ(有料)でシュノーケリングやバーベキューを楽しんでいる。

<その他>

ヨットクラブ(会員制)、ウォーキングクラブなど。情報収集は口コミが多い。在留外国人グループでは毎週月曜日にハッシュが、アルティメット・フリスビーが毎週火・木曜にウッドフォード・インターナショナル・スクールで行われており、希望すれば随時参加できる。

17-2 趣味

該当情報なし。

17-3 語学学習

(1) 語学学習施設

USP(南太平洋大学)センター(住所:P.O.Box 460 電話:21307)で、ソロモン人を対象にした英語コースが時々開設されている。

(2) 家庭教師

ビジン語の個人教授は20回コース(1回1時間)で、授業料は1000ソロモンドル(2011年7月現在)。ただし、講師によるので目安とされたい。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

地方旅行で楽しめるのは、海水浴、シュノーケリング、スキューバダイビング、クルージング、釣りなど。政府観光局(P.O.Box 321 電話 22442)で、ある程度の情報が収集できる。ホニアラの主要ホテルに宿泊する場合は、ホテルに頼めば様々なアレンジをしてくれる。

外国人の国内旅行に関する規則や制約は特にない。安全上の観点から、JICAでは全地域について一般渡航を事務所承認としている。(2011年7月現在)

国内には第2次世界大戦時の飛行機や船舶の残骸や、兵士の遺品などが散在しているが、これらを無断で移動したり持ち出したりすることは禁止されている。

トレッキングをする場合は、地元民に同行を頼むべきである。ソロモンでは土

地所有制度が複雑であり、村の住民から通行料を徴収されることがある。

食事を提供するホテルは、ホニアラ以外では、ギゾ、ムンダ、アウキと、セゲ、サボ及びマラウのリゾート程度である。これ以外の町で素泊まりのレストハウスなどに泊まる場合は、ホニアラから食料品を持参したほうがよい。

18-2 主要観光地・保養地

< Agnes Lodge >

P.O.Box 9, Munda

電話 : 61133

FAX : 61225

E-mail : Egilodge@solomon.com.sb)

ホニアラからムンダへ飛行機で1時間20分。ムンダはウエスタン州で州都ギゾに次ぐ町である。海水浴、釣り、シュノーケリング、ブッシュウォークができる。

< Gizo Hotel >

P.O.Box 30, Gizo

TEL : 60199

FAX : 60137

ホニアラから飛行機で1時間40分。ウエスタン州の州都ギゾにある。海水浴、釣り、シュノーケリング、ダイビングが楽しめる。ギゾ周辺には沈船が多く、良好なダイブスポットとなっている。ボートで30分ほどの沖合いに有名なケネディ島(第2次世界大戦中、故ケネディ米大統領が、乗船していた魚雷艇を日本軍に撃沈された際に、漂流して泳ぎ着いた島)があり、ピクニック、シュノーケリングなどが楽しめる。

< Uepi Island Resort >

P.O.Box84 HP Hermit Park QLD4812 Australia

電話 : +617 47751323)

Email : infor@uepi.com

URL : www.uepi.com

ホニアラから飛行機で1時間。セゲ小島が散在している美しいマロボラグーンの島のひとつである。海水浴、釣り、シュノーケリング、ダイビング、ブッシュウォーク、ヤシガニ観察ができる。ホニアラのGTSを通して予約可能。

< Tavanipupu Island Resort >

URL : www.tavanipupu.com

ガダルカナル島東端にあり、ホニアラからマラウへ飛行機で30分(現在空港閉鎖中)、マラウから小型船で30分である。サンゴ礁の小島が散在している美しい場所である。海水浴、釣り、シュノーケリング、ダイビングができる。ホニアラのGTSで予約可能。

以上のホテルやリゾートが、比較的ポピュラーである。これ以外にいくつものリゾートやレストハウスがあるが、当地の事情をある程度把握してから利用することを勧める。

 Yellow Page

18-3 旅行代理店

国内航空と宿泊の予約は、旅行代理店および航空会社で行っている。海外旅行の宿泊の予約も可能である。次のような旅行代理店がある。

- ・Solomon Airlines
- ・Guadalcanal Travel Service
- ・Pacific Travel Center

19. 私財の輸送、 引き取り、



 Yellow Page

19-1 家財道具

(1) 輸送会社

私財を返送する際の箱詰めや梱包は、原則として自分で行う。梱包してほしい場合、輸送業者に問い合わせればよい。

< 航空輸送 >

- ・Sol Air Cargo
- ・TNT Air Cargo Ltd.

< 海上輸送 >

- ・Tradco Shipping Ltd.

(2) 輸入手続き

荷物が到着すると電話で連絡がくるので、航空会社あるいは船会社の代理店まで取りに行く。税関手続を済ませたあとに引き取ることになる。

(3) 輸入貨物の受け取り港

荷物はホニアラ港で受け取る。

19-2 自動車

(1) 一般状況

輸入規制や排気量規制はない。日本から輸入することも、当地で購入することも可能であるが、当地で購入する場合は質・量とも限られるため、前任者から買い受けるか日本から持ち込むことが多い。またオートマチック車の現地購入は困難である。

車種は道路事情が悪いので車高の高い四輪駆動車の方がよい。市内幹線道路のみしか使用しないのであれば乗用車でもよいが、少し裏道にはいると穴だらけでパンクが多いため、運転には細心の注意を要する。

(2) 輸入手続き

新車または中古車を日本から送る場合、輸送に2週間から3カ月かかる。通関

には船荷書類一式、免税通関手続き、陸揚げ許可証が必要で、手続きは1～2日で終了する。中古車の場合検査検査が必要となる。

最近日本の業者を使って中古車を送ることが殆どである。

(3)現地での購入

中古車を買う場合は部品の入手が可能かどうかを気をつけて選定すること。ディーラーから買う場合も、名義変更のみでよい。

(4)自動車登録

財務省交通局へ行って、所定の用紙に記入して申請したあと、公共事業省へ行って車両検査を受ける。車両登録料(1年間)は、1580cc以下は500ソロモンドル、1580～2500ccが700ソロモンドル、2500cc以上が1100ソロモンドルである。強制(第三者)保険料(1年間)は192.50ソロモンドルである。ナンバープレート交付料は100ソロモンドルである。他に市中の業者に依頼するプレート作成代120ソロモンドルが必要である。

(5)免許証取得

申請書にパスポート用写真2枚を添えて、国際免許証あるいは日本の免許証を提示して、ソロモンの運転免許証の交付を申請する。免許証はその場で作成してもらえらる。料金は有効期間1年の場合は94ソロモンドルである。

(6)保険、税金

強制保険と任意保険がある。強制保険をかけないと、車両登録を更新することができない。

任意保険は、免責金額や、傷害や死亡事故などにいくらかけるかを自分で選択する。選択によってかけ金は変わるが、年間1000～4000ソロモンドル程度である。但し盗難保険はかけられない。

20. 地方都市



<ツラギ>

セントラル州の州都。自然の良港として知られ、戦前は宗主国イギリスの政庁が置かれ、太平洋戦争中は日本海軍の水上機用基地ともなっていた。1972年に大洋漁業とソロモン自治政府による合併の水産加工工場が設立されたが、現在同工場はウエスタン州のノロに移っている。首都ホニアラからは船、またはカヌーのチャーターしかない。航行時間は2～3時間ほどである。

ホニアラとの電話による通信は可能。市内には銀行(Bank South Pacific)の支店がある。水道はあるが、乾季になると断水することが多い。生活水の確保が深刻な問題となる。

米、缶詰、肉、魚や雑貨を購入することはできるが、野菜の購入は難しい。市内には2カ所のゲストハウスがある。

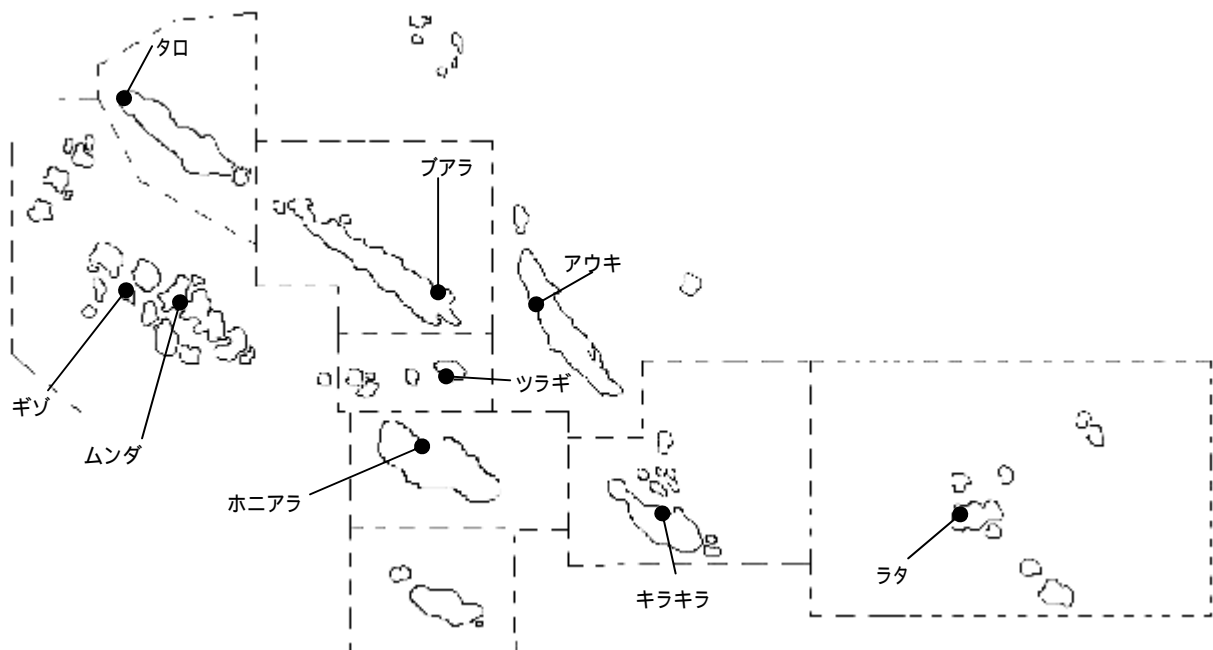
<アウキ>

マライタ州の州都。ホニアラから飛行機で約30分。離発着時に合わせて空港

とアウキのソロモン航空代理店との間にバスサービスがある。(有料)市内はキルフィ病院からアウキ間にバスサービスあり。宿泊はアウキ・ロッジ、アウキ・モーター、ララス・モーターなど市内中心部に数件あるが、いずれも設備は簡素である。

<ギゾ>

ウエスタン州の州都。当国随一の観光地で、マリンスポーツ目当ての観光客の姿も目にする。ホニアラからは飛行機で1時間(直行の場合)。ギゾ空港は沖合の無人島にあり、町まではボートを利用する(ホテルのものを利用する場合片道50ソロモンドル)。宿泊はエアコン、プール付きのギゾホテル(2011年7月現在一泊975ソロモンドル)のほか、ロッジ形式の安宿が数軒ある。



Part 3 イエローページ

*特に記載のない限り、事務所周辺の情報が中心になっています。

1. JICA 事務所

名称	JICA Solomon Islands Office
所在地	1 st Floor, Solomon Islands Mutual Center Building, Town Ground, Mendana Avenue, Honiara, Solomon Islands
TEL/FAX	TEL:677(ソロモン諸島国番号)24170 FAX:677-24171
URL/E-mail	E-Mail:si_oso_rep@jica.go.jp

2. 在ソロモン日本大使館

所在地	3 rd Floor, NPF Building, Point Cruz, Honiara
TEL/FAX	TEL: 22953, FAX:21006

3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL:22953
警察	TEL:999
消防	TEL:988
救急車	TEL:911
自然災害	TEL:955
海難	TEL:977

4. ホテル *料金はソロモンドル(2011年現在) 下記宿泊料金の税金10%が加算される。

■Solomon Kitano Mendana Hotel(ソロモン・キタノ・メンダナ・ホテル)

Mendana Avenue, Honiara
TEL:20071 FAX:23942
URL: http://www.kitanomendana.com/
E-mail kitano@mendana.com.sb
料金: ガーデンビュー\$900、シービュー\$990、シービューデラックス\$1,090、スイート\$1,800、ニューウィング・イグゼクティブ \$ 1,600 ニューウィング・スイート \$ 2,800 (シングル、ツイン同料金、エクストラベッド \$ 120)
American Express, Master Card, VISA, JCB, Dinners

■Honiara Hotel (ホニアラ・ホテル)

China Town, Honiara
TEL:21737, 23412 FAX:20376
URL: http://www.honiarahotel.com.sb/
E-mail: honhotel@welkam.solomon.com.sb
料金:スタンダード\$580 パラダイスウィング \$ 1,150、デラックスダブル\$1,000、セルフコンティン \$ 1,300、パジェットルーム(バックパッカータイプ) \$ 250
American Express, Master Card, VISA

■King Solomon Hotel (キング・ソロモン・ホテル)

Hibiscus Avenue, Honiara
TEL:21205 FAX:21771
URL: http://www.kingsolomonhotel.info/
E-mail: kingsol@solomon.com.sb
料金:スタンダード\$640、デラックス \$ 850、シービュー\$935、シングルユニット \$ 1,020、ダブルユニット \$1,105
American Express, Master Card, VISA, Dinners

■Pacific Casino Hotel (パシフィック・カジノ・ホテル)

Kukum Highway, Honiara
TEL:25009 FAX:22880
URL: http://www.solomon-hotel.com/index.html
E-mail: pacificcasinohotel@solomon-hotel.com
料金: 1階 \$600 ~\$1,150、2階 \$650 ~ 4,000、アパートメントタイプ\$350 ~ 800
American Express, Master Card, VISA

■Quality Inn Motel (クオリティー・イン・モーター)

TEL:25150 ~ 2, FAX:25277
E-mail gml@solomon.com.sb
料金:スタンダード \$ 275 ~ 750.20、キッチン付の長期滞在向けの部屋(月額\$13,000)がある。
American Express, Master Card, VISA

- Heritage Park Hotel (ヘリテージ・パーク・ホテル)
 Mendana Avenue, Honiara
 TEL: 24007 FAX: 21001
 URL: <http://www.hph.com.sb>
 E-mail: info@hph.com.sb
 料金: エグゼクティブ\$1,850~プレジデントスイート\$3,900
 American Express, Master Card, VISA

5.不動産会社

- AJ&G Blum Ltd
 Honiara
 TEL: 23277 FAX: 21027
 E-mail: blums@bjs.com.sb
- Capital Housing Development Project Services
 Honiara
 TEL: 25333 FAX: 25332
 E-mail: capital@solomon.com.sb
- Premiere Real Estate
 Honiara
 TEL: 21404 FAX: 21413
 E-mail: premiere@solomon.com.sb

6.レストラン

- Hakubai (白梅)
 ソロモン・キタノ・メンダナホテルの1階
 TEL: 20071 (メンダナ・ホテル)
 日本食、定食、麺類、刺身、てんぷら等。寄せ鍋、すき焼き、鉄板焼きは要予約。個室有(要予約)。
- Capitana International Restrant (カピタナ)
 ソロモン・キタノ・メンダナホテルの1階
 TEL: 20071 (メンダナ・ホテル)
 洋食一般。海を眺めながらの食事が楽しめる。日本食のオーダーも可能。
- Golden Crown Restaurant (ゴールデン・クラウン・レストラン) (通称シャンハイ)
 Mendana Avenue
 TEL: 28181
 中華料理(上海料理)、海鮮料理(海老、カニ、魚等)がおいしい。鍋料理(要予約)。個室有(要予約)。
- Sea King Restaurant (シーキングレストラン)
 ホニアラ・シティ・カウンシル前のラウンダバウトから海沿い
 TEL: 23621, 23678
 中華料理 広いので多人数対応可 冷房が強いのが難点
- Hong Kong Palace (ホンコン・パレス)
 Hibiscus Avenue
 TEL: 23338
 中華料理 当国では老舗のレストラン。
- Taji Mahal (タジマハール)
 Sunvale Junction 市内からルンガ橋を過ぎて空港に近い交差点の左側沿道にある。
 TEL: 36604
 スリランカ・インド料理
- Ocean View Restautant (オーシャン・ビュー・レストラン)
 パシフィック・カジノ・ホテル内
 TEL: 25009 (パシフィック・カジノ・ホテル) Ext. 305
 洋食
- Jina's Restaurant (ジーナズ レストラン)
 Kukum Highway 沿い、パシフィック・カジノ・ホテルの隣
 TEL: 22310
 中華系メニュー
- Nicky's Fast Food (ニッキーズ・ファスト・フード)
 Hibiscus Avenue JICA 事務所から一番近いところにある。
 TEL: 26555
 タイ料理のぶっかけご飯、ハンバーガー等 JICA スタッフ昼食の定番メニュー、ケイタリング OK
- Lime Lounge (ライム・ラウンジ) カフェ
 Point Cruz, ANZ Bank の裏側
 TEL: 23064
 カフェ 7:00~。朝食、昼食 OK

■Fun Restaurant (ファン・レストラン)

Kukum Highway 沿い、パシフィック・カジノ・ホテルの敷地隣

TEL: 22289

中華料理、水曜、土曜限定のラクサがお勧め。

■Bumboo Cafe (バンブー・カフェ)

Hibiscus Avenue

TEL: 21205 FAX:21771

オーストラリア人経営の、ソロモンでは小洒落たカフェ。

■Rain Tree Cafe (レイン・ツリー・カフェ)

White River

TEL: 22086

ホニアラ市の西端にある。金土日のみオープン。ピザが美味しい。

7. 食料品の入手

< 市場 >

■Central Market (セントラルマーケット)

市内中心部にある。日本の無償資金援助で建設されたもの。駐車場 \$ 5.00

野菜、果物、イモ類、魚貝類(鯉・マグロは夕方4時くらいに行くと新鮮なものがある) 鶏肉(丸ごと)、土曜日が一番賑うが、すり等多いので要注意。日曜日は休み。食品以外にも工芸品、アクセサリ、布物等有。

■Fishing Village (フィッシング・ヴィレッジ)

Prince Philip Highway の沿岸沿い(水産局そば)

土曜休、日曜日オープン。野菜、果物、イモ類、魚貝類。セントラルマーケットより野菜等の種類が少ない。

■ハイウェイ沿いの鮮魚販売

Prince Philip Highway の海岸沿い、Panatina Plaza の前後2箇所。

釣りたての鮮魚が並ぶ。鮮度によっては刺身も可。

< スーパーマーケット >

■Wings (ウイングス)

Point Cruz, NPF ブラザ内。

TEL: 20109

週日 8:30 ~ 17:00、土 8:30 ~ 13:00、日祭日休業。ボトルショップ有。中国食材多い。

■DELI-IN-THE-PLAZA (デリ・イン・ザ・プラザ)

Prince Philip Highway, Panatina Plaza 内

TEL: 38176

肉類、チーズ等の乳製品、輸入果物。週日 7:30 ~ 17:00、土 7:30 ~ 14:00、日祭日休業。

< 商店 >

■Y. Sato & CO LTD (ワイ・サトー商店)

Point Cruz

TEL: 21620

日本食の食材、麺類、カレー・シチューのルー、醤油、マヨネーズ、味噌、わさび、ウスターソース等。

■Lucky Seven Enterprise (LSE 商店)

Point Cruz, Mendana Avenue, ホット・ブレッド・キッチンそば。

TEL: 27368

中国人経営の食料品店。豆腐、もやしがある。

■Meat Lovers (ミート・ラバーズ)

Prince Philip Highway, Pacific Casino Hotel の斜め向かい側。生肉も取り扱い(他店は冷凍品)。

TEL: 30077

肉類、エビなど。量り売りが可能。

■Nambawan Meat (ナンバーワン・ミート) Sullivans Ltd

ホニアラ港

TEL: 21643

肉類

■Sullivans Ltd (サリバンス)

ホニアラ港

TEL: 21643

酒類

8. デパート、ショッピングセンター

■NPF PLAZA (エヌピーエフ・プラザ)

Mendana Avenue

週日 8:00 ~ 17:00、土 8:00 ~ 12:00 日祭日休日

- PANATINA PLAZA (パナティナ・プラザ)
Prince Philip Highway 沿い
週日 8:00～17:00、土 8:00～12:00 (一部 14:00 まで) 日祭日休日
- HUNDAI MALL (ヒュンダイ・モール)
Mendana Avenue
週日 8:00～17:00、土 8:00～12:00 日祭日休日
アパレル、薬局、レストラン、雑貨屋、SIEA、SIWA 窓口等あり。

9.家具

- Tropical Quality Furniture Limited
Ranadi Beachfront
TEL:30219
注文家具、ローカルメイド
- ITA HARDWARE (アイティーイー ハードウエア)
Mendana Avenue セントラルマーケットの対面
TEL: 26868
輸入家具、寝具など
- Solcane Furniture Industries Limited
Ranadi
TEL:30878
注文家具、ローカルメイド
- Bowmans (ボーマンス)
ホニアラ港
TEL: 21901
輸入家具、工具類

10.工具、素材

- ITA HARDWARE (アイティーイー ハードウエア)
Mendana Avenue セントラルマーケットの対面
TEL: 26868
工具類、素材

11.医療機関

- National Referral Hospital (国立中央病院) 通称ナンバーナイン
市内からマタニコブリッジを渡って左側
TEL:23600
救急部門は 24 時間対応。内科、外科、整形、産婦人科、小児科、眼科、麻酔科、放射線科、精神科、歯科。
診察料無料。外来は混雑しているため、時間がかかることが多い。
- East Medical Center (イースト・メディアカル・センター)
ラナディ ゴルフ場の先
TEL:39220
Dr. Nathan K Kere
内科、小児科、皮膚科、感染症。診察料 \$ 80
- Panatina Medical Center (パナティナ・メディカル・センター)
パナティナ・プラザ内
TEL:38185 携帯 7477028、医師自宅 28089
内科、外科。診察料 \$ 150.
- In The Zone (イン・ダ・ゾーン)
キング・ソロモン・ホテル脇の小道から入り、坂を上ったところにある。
TEL:
Dr. George
内科、小児科、皮膚科、感染症。
- AJS PRIVATE MEDICAL CENTRE (AJS クリニック)
Mendana Avenue
TEL:21773 携帯 7464656
Dr.PITAKAKA
小児科、内科。時間内診療 \$ 100、時間外診療 & 往診 \$ 200
- Honiara Dental Centre (ホニアラ・デンタル・センター)
Point Cruz, Centre Point Building 2 階
TEL:22746 医師自宅:30604 携帯 7473842
週日 8:00～12:00、13:00～16:30。緊急時は週末でも対応可。事前に電話にて予約。

12. 民間救急車派遣会社

なし

13. 薬局

■Honiara Dispensary (ホニアラ・ディスペンサリー)

Point Cruz

TEL: 23587

E-mail: hondis@solomon.com.sb

外国人薬剤師駐在

■Panatina Chemist Ltd. (パナティナ・ケミスト)

Point Cruz Chemist

Point Cruz

TEL: 22911

Panatina Plaza

パナティナ・プラザ内

TEL: 38209

■Le Pharmacy (レ・ファーマシー)

国立中央病院(ナンバーナイン)前のハイウェイの対面のビル内

TEL: 20499

14. 金融機関

■ANZ Banking Group (Australia & New Zealand Banking Group Limited)

Mendana Avenue Point Cruz

TEL: 21111 FAX:

URL: www.anz.com/solomonislands

■Bank South Pacific

Mendana Avenue, Point Cruz

TEL: 21874

■Westpac

Mendana Avenue, Point Cruz

TEL: 21222 FAX: 23419

E-mail: westpacsolomonislands@westpac.com.au

URL: www.westpac.com.sb

15. レンタカー会社

■AVIS Solomon Islands

Quan Chee Building - Old Chinatown, G.P.O. Box 87, Honiara

TEL: 24180, 22399, 21584 FAX: 24181, 23489, 21439

E-mail: qcmotors@solomon.com.sb

■Economy Car Rentals

TEL: 27100 FAX: 23593

E-mail: economy@solomon.com.sb

16. 国際宅配サービス

■BJS AGENCIES LIMITED

Point Cruz, Commonwealth Avenue

TEL: 22393 (DHL Express)

17. コンピューターの販売・修理

■AUSPAC

Ranadi と Point Cruz

TEL: 38652, 39108 (Ranadi), 26008, 24885, 27581 (Point Cruz)

E-mail: cands@solomon.com.sb

■Datec (SI) Limited

Point Cruz, Tong's Building, Ground Floor

TEL: 27009, 27010 FAX: 27011

E-mail: sales@datec.com.sb

URL: www.datecgroup.com

■DALTRON

Point Cruz, Commonwealth Avenue

TEL: 25100, FAX: 25114

E-mail: sales@daltron.com.sb

18. 教育機関

■Woodford International School

Prince Philip Highway、 P.O.Box R44 Honiara Fishing Village の Highway をはさんで対面

TEL: 30186

幼稚園から小学部、中学部まで

■Chuna Wah School

Chinatown P.O.Box 196, Honiara

TEL: 22460 FAX: 24619

プレスクールから小学校 6 年生まで、中国系の学校

19. 図書館

■National Library Services (Ministry of Education and Human Resources Development)

Old Mataniko Bridge そばのインフラ省の隣の建物

TEL: 27412

開館 月、水、金 8:00 ~ 12:00、13:00 ~ 16:30、本の貸出にはパスポートまたはIDが必要。

■Public Library (Honiara City Council)

Old Mataniko Bridge そばのインフラ省の隣の建物 National Library Services の隣

TEL: 21133 (EXT. 251) Honiara City Council

開館 週日 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 16:00、土日閉館。本の貸出にはパスポートまたはIDが必要。

20. 新聞の購読

<日本の新聞>

■OCS 海外新聞普及(株)輸出購読サービス

〒108-8701 東京都港区芝浦 2-9-13

TEL: 03-5476-8131 FAX: 03-3453-8091

URL: <http://www.ocs.co.jp/> E-Mail: subs@ocs.co.jp

21. スポーツ施設

<ゴルフ場>

■Honiara Golf Club

Ranadi SICHEの対面

TEL: 30582

グリーンフィー \$ 150 (18 ホール)、メンバーズフィー (入会金 \$ 1500、年会費 \$ 800) で毎回のプレーフリー。

22. 語学学校

(該当情報なし)

23. 旅行代理店

■Guadalcanal Travel Service (GTS)

Mendana Avenue, City Centre

TEL: 22586, 22587 FAX: 26184 E-mail: quadtrav@solomon.com.sb

24. 輸送会社

■SolAir Cargo TEL: 30183

■BJS Agencies Limited TEL: 22393

■TNT TEL: 30298

■UNIVERSAL TRADERS LTD TEL: 26301

■Tradoco Shipping Ltd. TEL: 22588 FAX: 23887

25. 保険会社

■QBE Insurance Limited

Prince Philip Highway, Panatina Plaza 内

TEL: 38884 FAX: 38887

E-mail: info.sol@qbe.comURL: www.qbe.com

■TOWER Insurance

Prince Philip Highway, Panatina Plaza 内

TEL: 22955 FAX: 23636

E-mail: avis.natei@towerinsurance.com.sb